

はばプラⅡ 学級活動 内容のまとめ(1) の基本的な流れ

学びを深める指導・支援の重要ポイント

過程と基本的な学習活動

事前の活動

- 問題を発見・確認する。
 - ◇議題を決定する。(学級全員)
 - 【議題】**
 - ◇活動計画を作成する。(計画委員会・提案者)

1 つかむ

- 議題、提案理由、「話し合いのめあて」などを学級全体で確認させる。

「話し合いのめあて」

本時の活動

2 出し合う

- 一人一人の意見を発表し合う場を設定する。
- 発言の苦手な児童生徒が参加しやすい雰囲気をつくる。
- 理由を明確にして発表させる。その際、提案理由や話し合いのめあてに沿って言えるようにする。

3 比べ合う

- 出された意見の内容を共有させる。
- それぞれの意見を分類したり、整理したりして、互いの考えの違いや共通点を確認させる。

4 まとめる (決める)

- 最終的に折り合いを付けるなどして、集団としての「合意形成」を図り、全員の総意としてまとめさせる。

【振り返り】

事後の活動

- 決めたことを実践する。
- 振り返る。

一連の活動の振り返り

個別最適な学びに関わる学習活動

協働的な学びに関わる学習活動

1人1台端末の活用

【端末による議題案の収集】
○通信情報ネットワークを活用して情報収集する。

<例>
・計画委員が、アンケートを端末で作成し、ネットワークで回答を集約する。

【端末による議題提案】
○端末を活用して議題を提案する。

<例>
・計画委員が、画像、プレゼンテーションソフトを活用して説明する。

【情報の発信・伝達】
○端末に意見を書き出し、共有フォルダに保存する。
→発言が苦手な子でも、自分の意見を比べ合う場面で活かすことができる。

【情報の整理・比較】
○大型提示装置や端末等を活用し、出し合った意見の分類・整理しながら、考えを共有する。
→内容ごとに操作化しながら出された意見の共通点や相違点を見出すことができる。

【合意形成】
○多様な考え方の理解や価値観のすり合わせのために端末を活用する。
○安易な多数決にソフトを活用することのないようにする。
○ものの見方や考え方には多様性があることを知る。
○話し合いの過程の中で考えや価値観が変わることを実感する。

【振り返る環境の整備】

<例>
・実践の様子を写真等で記録し、学級の歩みとして教室内に掲示したり、活動の振り返りを行う際に活用したりする。

【活動記録の蓄積】

<例>
・端末等へ実践の様子画像、一人一人の振り返りを記録する。

教師の指導・支援

大型提示装置・教師用端末の活用

・学級会の意義や話し合いの進め方などについての確認する。

<例>
・大型提示装置で学級会の動画記録、オリエンテーション資料を提示する。

・大型提示装置等での資料の提示する。

<例>
・事前のアンケート結果を図や表にまとめて示す。

・意見の可視化をする。

<例>
・端末に書いた個人の意見を大型提示装置で提示する。

・出された意見の共通点や相違点に着目させながら、「話し合いのめあて」をもう一度確認する。

・まとめたこと(決めたこと)を大型提示装置等で提示する。

学びを深める指導・支援の重要ポイント

過程と基本的な学習活動

事前の活動

- 問題を発見・確認する。
 - ◇問題を確認する。
 - ◇共通の課題を設定する。

【共通の課題】

- ◇問題意識を高める。

本時の活動

1 つかむ (課題の把握)

- アンケート結果を提示し、課題を把握させる。
- 本時のめあてをつかませる。

「話合いのめあて」

2 さぐる (原因の追求、可能性への気付き)

- 問題の原因を明らかにして、解決に向けての方向性をはっきりさせる。(2)
- これまでの自分を振り返るよう促し、「なりたい自分」について自分の願いをもたせたり、よさや可能性を探らせたりする。(3)

3 見付ける (解決方法等の話合い)

- みんなでよりよい解決方法や努力事項などについて話し合ってみつけさせる。(2)
- みんなで「なりたい自分」を追求するためにできることなどを出し合ってみつけさせる。(3)

4 決める (個人目標の意思決定)

- 自己の課題を解決するために努力すべき具体的な個人目標 (内容や方法) を各自で意思決定させる。(2)
- なりたい自分になるために、自分に合った具体的な個人目標 (内容や方法) を各自で意思決定させる。(3)

【振り返り】

事後の活動

- 決めたことを実践する。
- 振り返る。

一連の活動の振り返り

個別最適な学びに関わる学習活動 協働的な学びに関わる学習活動

1人1台端末の活用

【情報の収集】
○端末を活用した情報収集を行う。

<例>
・アンケートを端末で作成し、ネットワークで回答を集約する。

【題材の把握】
○題材を自分事として捉える。

<例>
・グループでSNS上のやり取りのロールプレイを行う。
(SNSの正しい使い方の授業)

【情報の発信・伝達】
○端末に意見を書き出し、共有フォルダに保存する。
→発言が苦手な子でも、自分の意見を比べ合う場面で活かすことができる。

【多様な視点】
○自分の考えと似ているところや、違うところを見つけながら、いろいろな視点で考える。

【意思決定】
○いろいろな考え方を参考にした上で、意志決定をする。
→自分の生活を振り返ったり、これからの生き方を考えることができる。

【振り返る環境の整備】

<例>
・実践の様子を写真等で記録し、学級の歩みとして教室内に掲示したり、活動の振り返りを行う際に活用したりする。

【活動記録の蓄積】

<例>
・端末等へ実践の様子画像、一人一人の振り返りを記録する。

教師の指導・支援

大型提示装置・教師用端末の活用

・問題の確認や共通の課題を設定する。

<例>
・題材に関わる子供の様子を教師用端末等で撮影し、問題の確認や共通の課題の設定に生かす。

・大型提示装置やビデオなどの映像資料を活用する。

<例>
・アンケート結果を示したり、映像資料を活用したりして、問題意識を高めさせる。

・意見の可視化をする。

<例>
・端末に書いた個人の意見を大型提示装置で提示する。

・活動記録の蓄積をする。

・学びの過程を記述し、振り返ることができる「キャリアパスポート」の作成と蓄積を端末機器で行うことも考える。